学位論文概要「環境情報からのメッセージ」(環境イノベーションマネジメント専攻)

名前	指導教員	論題	論文要約
柳澤　久恵	安藤孝敏	ソーシャル系大学に集う理由—都市で求められるコミュニティの条件—	本研究では、ソーシャル系大学こすぎの大学に着目し、受講者が集うと得られる効果と、住民が集いたくなるコミュニティの条件を明らかにした。受講者は「セルフケアがしやすい」「フラットな関係で地域を知ることができる」等の 6 つの効果を得ていた。また、都市で求められるコミュニティの 3 つの条件が示された。本研究の結果から、橋渡し役の活動を支援し、学びや居場所を提供し続ける「地域課題に触れるコミュニティ」が地域共生社会の実現に必要であると考えられた。
デイナ リスミタ	安藤孝敏	在日インドネシア人ムスリム女性の日本での妊娠・出産・育児の困難に関する研究	経済のグローバル化や情報通信・運輸手段の発達による人の国際的な移動はますます活発になり、2018 年には 2 億 5,000 万人の人々が生まれた国を離れて生活すると推定されている。 外国人の登録者の国籍（出身地）数は 186 か国にも及び、その 4 分の 3 に当たる約 150 万人がいわゆるニューカマーの外国人であるとされる。このように、日本でのニューカマーが増加することにより、日本での出産子育てをしている外国人も増加している。彼らの精神面の支援、健康、子育ての支援にも注目すべきだと思う。
早乙女 裕紀	本藤祐樹	地中熱ヒートポンプの CO2 削減効果を最大化する導入条件の探索	本研究では、業務用建物における空調に伴う CO2 排出削減に効果的な地中熱ヒートポンプ(GSHPs)の導入方法を明らかにすることを目的とする。気候・系統電力・建物規模・既存空調システムの 4 つの要素を基に導入条件を想定し、ライフサイクルにおける CO2 排出を推計する。推計の結果、GSHPs が吸収式冷温水機を系統電力の CO2 排出係数が低い地域において代替する場合に CO2 削減効果が高いことが判明した。
都築 尚仁	本藤祐樹	日常的な働きかけが太陽光発電システムへの心理的近接性に及ぼす影響～環境配慮行動の促進を狙ったデジタルサイネージの設計～	本研究の目的は、環境配慮行動の促進につながる太陽光発電(PV)システムへの心理的近接性向上である。そこで、PV システムの敷設された公共施設利用者の PV システムへの心理的近接性向上のため、アイキャッチ効果の高い子供の写真を利用したデジタルサイネージを作成する。そして質問紙調査の分析結果より、作成したデジタルサイネージは、PV システムへの心理的近接性を向上させ、環境配慮行動を促進させる可能性が示唆される。

中野 祐樹	本藤祐樹	再生可能エネルギー政策の受容性向上に向けた「物語」の活用	本研究の目的は、物語形式の情報提供が再生可能エネルギー政策の受容性に与える影響を明らかにすることである。大学生を対象に物語型情報と説明文型情報のいずれか一方を提示し、その前後に政策受容性を測定するための質問紙調査を2回行った。分散分析の結果、物語型と説明文型のいずれも受容性の有意な変化を導いていないことが明らかになっている。しかしながら、エネルギー問題への関心が低い人に対しては物語型の情報提供が有効となる可能性が示唆されている。
長田 叡昇	安本雅典	SNS上における購買意思決定―SNSの相互フォローと財の性質の関係性が与える影響	本研究は「SNSを通して購買行動を行う際、財の性質毎にどのような繋がりを持った他者から影響を受けるのか」を明らかにすることを目的とする。そこで商品購入者ごとのSNS上のフォロー関係に着目してネットワーク分析を行なったところ、SNSの相互フォローと特定の財の性質の関係によって購買行動が影響を受けることが明らかになった。本研究の意義は、あまり研究されてこなかったSNS上の人間関係を対象に調査を行い、SNSを通した購買行動に影響を与える要因を明らかにしたことと、SNSをビジネスに活用する上での示唆を得られたことにある。
檜山 万由子	鳴海大典	多面的評価に基づく中山間地における 地域再設計の有効性に関する研究	本論文では、中山間地域を対象として散在集落の集約化を想定した将来シナリオを設計し、集約強度が経済性、環境性、QOLの各指標に与える影響を検討した。結果として、経済性は集約強度に応じて線形的に向上する一方、環境性は非線形的に向上した。また、QOLは定性的な評価にとどまるが、集約化が低下につながる可能性が示唆された。以上の結果から、散在集落の集約化には功罪両面があり、多面的評価が必要であることが示された。
陳 文	鳴海大典	恒温室実験データに基づいた食品冷凍冷蔵設備の冷却負荷およびエネルギー消費予測モデルの構築	本論文では、冷凍・冷蔵ショーケース（SC）の性能評価に関する恒温室実験を実施し、5種類のSCを対象として実使用状況を想定した種々の設定条件における冷却負荷等のデータを収集した。また、得られた結果を基に予測モデルを構築し、様々な条件下における冷却負荷や庫内食品温度などを時系列で予測した。さらには、実在店舗を対象として、種々の対策がエネルギー消費量や食品温度管理、室内への冷気漏れに与える影響を評価した。

白　雨生	周佐喜和	中国におけるサービス系プラットフォーム企業の戦略と競争優位 　　---プラットフォーム企業のエコシステム構築を中心に---	第四次産業革命はビッグデータ社会の発展を促し、データの活用によりエコシステムに変化をもたらした。中国企業のプラットフォームは欧米企業のプラットフォームの発展モデルとは異なり、より短い時間の中より多くの参入者を吸引し、プラットフォームエコシステムの高度の統合発展を実現するのである。本研究では、中国のプラットフォーム企業戦略と組織関係のマネジメントに着目し、事例分析により昔のマッチングメーカーの優位性と今のプラットフォームエコシステムの組織関係を明らかにするのである。